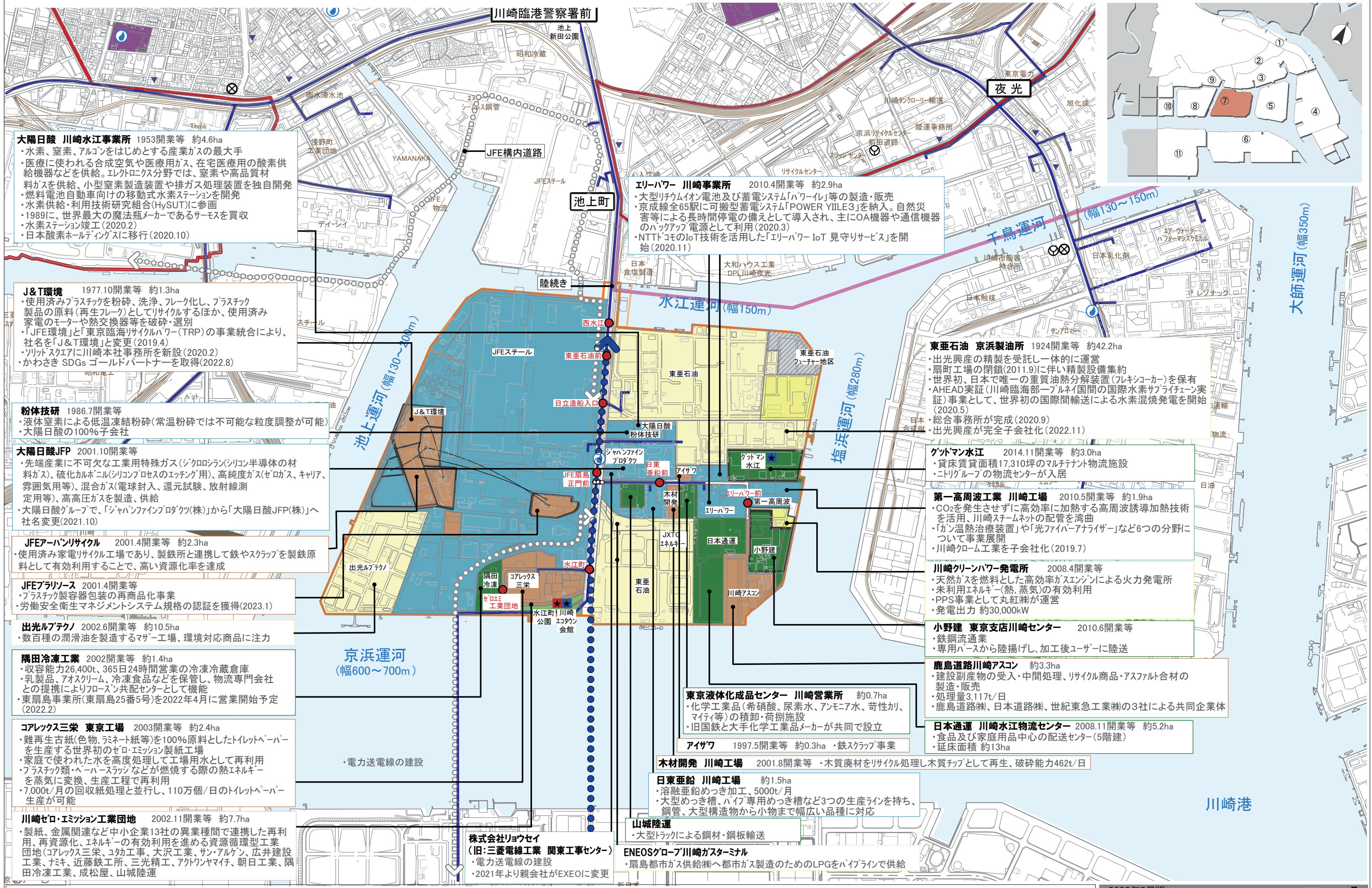
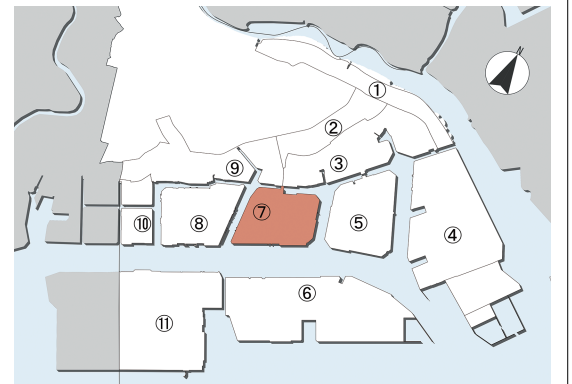


水江町地区 7

凡例

- 市域
- 国際戦略総合特別区域
- 対象地区範囲
- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域
- バス停
- 警察署
- 消防署
- 避難所
- 製造 (石油・石油化学)
- 製造 (石油・石油化学以外)
- リサイクル
- 公共用地
- 物流
- エネルギー
- その他
- 良好な戸建住宅地
- 公園等

SCALE 1/12000



大陽日酸 川崎水江事業所 1953開業等 約4.6ha
 ・水素、窒素、アルゴンをはじめとする産業ガスの最大手
 ・医療に使われる合成空気や医療用ガス、在宅医療用の酸素供給機器などを供給。エレクトロクス分野では、窒素や高品質材料ガスを供給。小型窒素製造装置や排ガス処理装置を独自開発
 ・燃料電池自動車向けの移動式水素ステーションを開発
 ・水素供給・利用技術研究組合(HySUT)に参画
 ・1989に、世界最大の魔法瓶メーカーであるサーモスを買収
 ・水素ステーション竣工 (2020.2)
 ・日本酸素ホールディングスに移行 (2020.10)

J&T環境 1977.10開業等 約1.3ha
 ・使用済みプラスチックを粉砕、洗浄、フレーク化し、プラスチック製品の原料(再生フレーク)としてリサイクルするほか、使用済み家電のモーターや熱交換器等を破砕・選別
 ・「JFE環境」と「東京臨海リサイクルパワー (TRP) の事業統合により、社名を「J&T環境」と変更 (2019.4)
 ・ソリッドエアに川崎本社事務所を新設 (2020.2)
 ・かわさき SDGs ゴールドパートナーを取得 (2022.8)

粉体技研 1986.7開業等
 ・液体窒素による低温凍結粉砕(常温粉砕では不可能な粒度調整が可能)
 ・大陽日酸の100%子会社

大陽日酸JFP 2001.10開業等
 ・先端産業に不可欠な工業用特殊ガス(ジクロロシラン(シリコン半導体の材料ガス)、硫化カルホニル(シリコンプロセスのエッチング用)、高純度ガス(セロカス、キャリア、雰囲気用等)、混合ガス(電球封入、還元試験、放射線測定用等)、高圧ガスを製造、供給
 ・大陽日酸グループで、「ジャパンフロンテック(株)」から「大陽日酸JFP(株)」へ社名変更(2021.10)

JFEアーバンリサイクル 2001.4開業等 約2.3ha
 ・使用済み家電リサイクル工場であり、製鉄所と連携して鉄やスクラップを製鉄原料として有効利用することで、高い資源化率を達成

JFEプラリソース 2001.4開業等
 ・プラスチック製容器包装の再商品化事業
 ・労働安全衛生マネジメントシステム規格の認証を獲得(2023.1)

出光テクノ 2002.6開業等 約10.5ha
 ・数百種の潤滑油を製造するマザー工場、環境対応商品に注力

隅田冷凍工業 2002開業等 約1.4ha
 ・収容能力26,400t、365日24時間営業の冷凍冷蔵倉庫
 ・乳製品、アオスクリーム、冷凍食品などを保管し、物流専門会社との提携によりフローズン共配センターとして機能
 ・東扇島事業所(東扇島25番5号)を2022年4月に営業開始予定(2022.2)

コアレックス三栄 東京工場 2003開業等 約2.4ha
 ・難再生古紙(色物、ラミネート紙等)を100%原料としたトイレットペーパーを生産する世界初のゼロ・エミッション製紙工場
 ・家庭で使われた水を高度処理して工場用水として再利用
 ・プラスチック類・ペーパー・スラッジなどが燃焼する際の熱エネルギーを蒸気に変換、生産工程で再利用
 ・7,000t/月の回収紙処理と並行し、110万個/日のトイレットペーパー生産が可能

川崎ゼロ・エミッション工業団地 2002.11開業等 約7.7ha
 ・製紙、金属関連など中小企業13社の異業種間で連携した再利用、再資源化、エネルギーの有効利用を進める資源循環型工業団地(コアレックス三栄、ユダ工業、大沢工業、サン・アルゲン、広井建設工業、ナミキ、近藤鉄工所、三光精工、アウトワンマイチ、朝日工業、隅田冷凍工業、成松屋、山城陸運)

エリーパワー 川崎事業所 2010.4開業等 約2.9ha
 ・大型リチウムイオン電池及び蓄電システム「パワーレ」等の製造・販売
 ・京成線全65駅に可搬型蓄電システム「POWER YUILE3」を納入。自然災害等による長時間停電の備えとして導入され、主にOA機器や通信機器のバックアップ電源として利用(2020.3)
 ・NTTドコモのIoT技術を活用した「エリーパワー IoT 見守りサービス」を開始(2020.11)

東亜石油 京浜製油所 1924開業等 約42.2ha
 ・出光興産の精製を受託し一体的に運営
 ・扇町工場の閉鎖(2011.9)に伴い精製設備集約
 ・世界初、日本で唯一の重質油熱分解装置(フレキシコカー)を保有
 ・AHEAD実証(川崎臨海部一フルイ国間の国際水素サプライチェーン実証)事業として、世界初の国際間輸送による水素混焼発電を開始(2020.5)
 ・総合事務所が完成(2020.9)
 ・出光興産が完全子会社化(2022.11)

グッドマン水江 2014.11開業等 約3.0ha
 ・貸床賃貸面積17,310坪のマルチテナント物流施設
 ・ニトリグループの物流センターが入居

第一高周波工業 川崎工場 2010.5開業等 約1.9ha
 ・CO₂を発生させずに高効率に加熱する高周波誘導加熱技術を活用、川崎スチームネットの配管を湾曲
 ・「がん温熱治療装置」や「光ファイバーアライナー」など6つの分野について事業展開
 ・川崎クロム工業を子会社化(2019.7)

川崎クリーンパワー発電所 2008.4開業等
 ・天然ガスを燃料とした高効率ガスエンジンによる火力発電所
 ・未利用エネルギー(熱、蒸気)の有効利用
 ・PPS事業として丸紅(株)が運営
 ・発電出力 約30,000kW

小野建 東京支店川崎センター 2010.6開業等
 ・鉄鋼流通業
 ・専用ハースから陸揚げし、加工後ユーザーに陸送

鹿島道路川崎アスコン 約3.3ha
 ・建設副産物の受入・中間処理、リサイクル商品・アスファルト合材の製造・販売
 ・処理量3,117t/日
 ・鹿島道路(株)、日本道路(株)、世紀東急工業(株)の3社による共同企業体

日本通運 川崎水江物流センター 2008.11開業等 約5.2ha
 ・食品及び家庭用品中心の配送センター(5階建)
 ・延床面積 約13ha

東京液体化成品センター 川崎営業所 約0.7ha
 ・化学工業品(希硝酸、尿素水、アンモニア水、苛性カリ、マティ等)の積卸・荷捌施設
 ・旧国鉄と大手化学工業品メーカーが共同で設立

アイザワ 1997.5開業等 約0.3ha ・鉄スクラップ事業

木材開発 川崎工場 2001.8開業等 ・木質廃材をリサイクル処理し木質チップとして再生、破砕能力462t/日

日東亜鉛 川崎工場 約1.5ha
 ・溶融亜鉛めっき加工、5000t/月
 ・大型めっき槽、パイ専用めっき槽など3つの生産ラインを持ち、鋼管、大型構造物から小物まで幅広い品種に対応

山崎陸運
 ・大型トラックによる鋼材・鋼板輸送

ENEOSグループ川崎ガスターミナル
 ・扇島都市ガス供給(株)へ都市ガス製造のためのLPGをパイプラインで供給

株式会社リョウセイ (旧:三菱電線工業 関東工事センター)
 ・電力送電線の建設
 ・2021年より親会社がEXEOIに変更

※ 下線を付した企業は、「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」の賛同者